

【総務・文教部会】

項 目	魅 力	課 題
<p>防災 ・ 安全</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 交通事故の減少傾向</li> <li>● 大災害が少ない地域</li> <li>● 小中学校の耐震化がほぼ完了</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 交通事故は年間約 300 件、うち死亡事故は約 7 件 (死亡事故の6割が 65 歳以上高齢者)</li> <li>● 災害に対する経験が少ない</li> <li>● 冬季に地吹雪発生</li> <li>● 津波への警戒と避難対策が急務(約 3～10 分で第一波到達)</li> <li>● 消防団の加入が減少(担い手対策が必要)</li> <li>● 通学路の交通安全対策</li> <li>● 平野部へも熊の出没(怪我、死亡あり)</li> </ul>
<p>教育 ・ 運動</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 鮭文化、農業体験など地域文化に関する学習の機会 (地域住民の協力が大きい)</li> <li>● 「村上市総合教育会議」の設置</li> <li>● 高速道路からアクセスしやすい運動施設 (各地域に総合体育館やグラウンドがある)</li> <li>● 世界的な選手の活躍(スノーボード平野歩夢選手)が市民の誇り、青少年の目標</li> <li>● 総合型地域スポーツクラブが全地区で稼働</li> <li>● 教育情報センター&amp;生涯学習推進センターの稼働率(ニーズ)が高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小中学校でのいじめの発生 (H25:25 件、H26:17 件、H27:6 件(9 月末まで))</li> <li>● 小中学校の統合の必要性 (村上市立小・中学校望ましい教育環境整備検討委員会の答申)</li> <li>● ふるさと教育(教師含)や中学生の職場体験等を産業振興につなげる工夫が必要</li> </ul>
<p>まちづくり ・ イベント</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民協働のまちづくりの進展(まちづくり協議会など各地域で地域活性化に向けた動き、景観づくりなど)</li> <li>● 村上城下町の重伝建、村上大祭の重文に向けた動き</li> <li>● 村上岩船定住自立圏形成の動き(関川村、粟島浦村との連携)</li> <li>● テレビ朝日「イチから住 ～前略、移住しました～」での全国放送 (俳優・尾上寛之)</li> <li>● 百姓やってみ隊(ボランティアによるシェアハウス運営)</li> <li>● 地域おこし協力隊の活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 運動施設の老朽化(53 施設中、築 30 年以上が 6 割)</li> <li>● 少子高齢化に伴い、祭り、伝統行事の担い手不足</li> <li>● 空き家、空き地、耕作放棄地の増加対策(利活用など)</li> <li>● 地域の温度差打開のため、住民の主体性・一体感の醸成が必要</li> <li>● グリーンツーリズムなどの推進</li> <li>● 高速道路延伸に伴う道の駅の活用や地域活性化</li> </ul>

【市民・厚生部会】

項目	魅力	課題
子育て	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 第三子の保育料無料(総合戦略)</li> <li>● 子育て支援センターの充実を図る事業を推進している</li> <li>● 子育て支援メールの配信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学童保育の空き時間に乳幼児の遊び場として活用(柔軟な活用方策)</li> <li>● 「病児・病後児保育」が必要 (現在のあらかわ保育園では「体調不良児対応型」)</li> <li>● 雨天や冬期の子どもの遊び場が必要</li> <li>● 父母や祖父母向けの息抜きや仲間づくりの場が必要</li> <li>● 第3子の保育料が無料でも、その後の教育費の不安も大きい</li> </ul>
環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自然環境が豊富(磐梯朝日国立公園、県立自然公園)</li> <li>● 貴重な動植物が生息(クマタカ、ブナ林、セナミスミレなど)</li> <li>● 洋上風力発電、木質バイオマス、家庭向けソーラー発電など環境負荷低減を推進</li> <li>● H27.3 新たなごみ処理場が稼働</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 畜産系の臭気による苦情が多い</li> <li>● 洋上風力発電に伴う漁業への影響や渡り鳥など動植物への影響を懸念</li> <li>● ごみの不法投棄は減少傾向だが、パトロールや注意喚起は継続的に必要</li> </ul>
医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 村上総合病院、県立坂町病院、山北徳洲会病院など、地域と密接な拠点病院の立地</li> <li>● 医師会の協力で休日急患診療所を運営</li> <li>● 新潟リハビリテーション大学を通じ、介護や医療面で予防・回復期医療の連携に期待</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 医師不足(産婦人科、小児科など)</li> <li>● 介護予防の充実</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 婚活支援事業を活用したイベントの開催</li> <li>● 定住自立圏による地域連携(投資や事務の効率化など)の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 進学・就職による若者の流出抑制(魅力的な仕事(やりがい、収入)の誘致、工場誘致だけでいいか?)</li> <li>● 女性の就労環境の向上(特に子供のいる女性が働ける場所)</li> <li>● 求人と求職のミスマッチ打開</li> <li>● グリーンツーリズムの運営体制(受入態勢があるのみ)</li> <li>● 少子高齢化の進行に対応したコミュニティや地域自治の存続性</li> </ul>

【経済・建設部会】

項目	魅力	課題
<p>自然環境 ・ 生活環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 急峻な山岳地から日本海まで多様な地形</li> <li>● 広大な森林と清流荒川、三面川、白砂青松の海岸や笹川流れなど豊富な自然環境や景観</li> <li>● 上水道普及率や汚水処理普及率は 100%近い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 豊かな自然環境の次世代への継承</li> <li>● 環境負荷軽減のあり方、身近な公園、緑地などの維持管理</li> <li>● 下水道加入促進と、老朽化した水道施設の維持管理</li> </ul>
<p>産業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 広大で肥沃な農地、圃場整備などの基盤整備も進む</li> <li>● 郊外に大規模店舗が立地、村上駅周辺でも商業活性化の動き</li> <li>● 市内に複数の工業団地が分布</li> <li>● 世界トップクラスの航空機産業</li> <li>● 伝統工芸品(堆朱・しな布)の存在</li> <li>● 商工・農水・若手と連携した「産業支援プログラム」の策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 安心安全な農業、後継者育成と農業の安定経営</li> <li>● 農林業の新規事業展開(林間わさび栽培の推進等)</li> <li>● 中心商店街の活性化、空き店舗解消、新規事業の展開</li> <li>● 積極的な企業誘致、中小規模製造業の安定経営、産業と観光の連携</li> <li>● 伝統工芸品の PR、後継者育成</li> <li>● 起業やサテライトオフィスなど、移住＋仕事が可能で体制づくり</li> </ul>
<p>観光</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 鮭の歴史・食(繁殖から漁、食まで)</li> <li>● 町屋の街並み、人形さま巡り・屏風祭り(全国的な知名度あり)</li> <li>● 海、山、温泉など自然的な観光資源も豊富</li> <li>● 岩船港周辺の観光地としての整備</li> <li>● 港町のまちなみ景観(塩谷、海老江)、出羽街道宿場町の景観(猿沢、小俣宿)</li> <li>● グリーンツーリズムなどに利用可能な地域資源が豊富</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 既存観光資源の強化・連携(周遊ルートの形成や食文化などとのコラボレーションなど)</li> <li>● お城山の観光強化、歴史・郷土史の PR</li> <li>● 岩船港周辺の整備充実(物流、レジャーなど)、航路の拠点としての安全性の向上</li> <li>● JR や高速道路を生かし、庄内圏をはじめ仙台、関西方面からの誘客</li> <li>● 異業種連携(ホテル・建設業・医療など)</li> <li>● PR、差別化、観光ガイドの育成</li> <li>● 外国人観光客の誘致</li> </ul>
<p>インフラ整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日東道整備により、新潟市をはじめ首都圏等からもアクセスが向上</li> <li>● 日東道は朝日まほろば IC 以北を今後整備予定</li> <li>● 近年大きな水害は発生していない(S42 羽越水害)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 山形県方面への高速交通整備による連携強化</li> <li>● 市街地内道路網の整備、安全性・快適性の向上</li> <li>● 2次交通の充実</li> <li>● 人口減や財政状況に伴うインフラの維持管理対策(道路や橋梁、公共施設など)</li> </ul>